

謹賀新年

新年のごあいさつ

白老町町内会連合会 会長 桑田 正博



新年のお慶びを申し上げます。
コロナ禍も落ち着きを見せ、各町内会の活動も徐々に戻ってきたように感じた一年でありました。白老町町内会連合会も活動を中止していましたが、理事等役員による先進地視察研修、4地区によるブロック別交流会などが実施され、懇談会を含む事業が開催できるようになりました。

昨年は「白老町町制施行70周年」ということで、多くの冠事業が開催され、参加された方々も多くいらっしやるのではないかと思います。これを機に、白老町のさらなる発展を期待します。

現在、白老町の人口は約1万5千人、世帯数は約9,200世帯であり、十数世帯の小規模な町内会から300世帯近い大規模なものまで99の組織がそれぞれの活動を展開しています。高齢化が進む中で地域福祉の充実、特に住民同士のコミュニケーションを深めることは、町内会活動において、最も重要な課題の一つであると考えております。

今住んでいる場所が生活するに心地よい場所であって、安全安心が継続していくことをみんな望んでいます。それを支えていくのが町内会の働きではないかと思っています。

白老町町内会連合会としては三つの理念「地縁で結ばれた私たちは、みんな仲間」「一人ひとりにできる住民力で、私たちの住環境の向上を」「住んでよかったと心から思える町内会をみんなの手で」を掲げて、みんなの力で町内会づくりを活性化していきたいと願っています。本年もご健勝で一人ひとりの力が発揮できますよう心よりお祈り申し上げます。



10月21日(月)萩野生活館で保育園へ寄贈する雑巾を製作する町連合女性部



11月13日(水)雑巾寄贈はまなす保育園



11月13日(水)雑巾寄贈
緑丘保育園

牧野直樹氏が白老町町内会連合会事務局長を令和6年12月31日付で退任し、1月1日付で坂東雄志氏が就任しました。
牧野氏は約7年間にわたり町内会連合会事務局長として、町内会および町内会連合会の発展に寄与されました。長年のご尽力に感謝申し上げます。

白老町町内会連合会事務局長に
坂東雄志氏